



おおしま あきこ
大島亜希子さん
上美生

東京出身の大島さんは、大家族の「お母さん」。ご主人と6人のお子さん、ご自身のお母さんに加え、犬1匹に猫2匹と一緒に暮らしながら、ご主人の経営する会社でお仕事する傍ら、月に数度は酪農ヘルパーもこなすなど、活動的な毎日をお過ごしです。「子どものころから馬が好きで乗馬なんかもやりました。動物好きが高じて、都内で唯一の農業高校へ進学したんですよ。夏休みの農業実習で初めて北海道に来たんですが、そのときにお世話になったのが十勝



将来は自給自足の暮らしかな

でした。周囲の風景を見て『これが北海道だ！』という感じで、かなりインパクトが強かったですね」と十勝の印象を語る大島さん。結婚後、農機具販売会社に勤務していたご主人の転勤がきっかけで、念願の十勝へ移り住んできました。
地域の印象について大島さんは「上美生で農業を営んでいた知り合いの紹介で上美生に引っ越して来たんですが、地域の方も温かく受け入れてくれました。子どもたちも、周りの方々に大家族が多いこともあってか、すぐにうち解けてくれましたね」と周囲の温かさを話します。
そんな大島さんに将来の夢を尋ねると「そうですね、馬を飼いたいな。牛も羊も飼って、自給自足を目指したい。子どもに手がかからなくなったら、B&B(宿泊と朝食を提供する宿)なんかもいいですね。心が疲れた人に癒しの場を提供してみたいです」と愛犬と一緒に笑顔で話してくださいました。

次回は おおしま あきこ 大島亜希子さんの紹介で いしむら ゆうこ 石村由有子さん(雄馬別)をご紹介します。

みなさんの周りの話題を募集中
個人で見つけたまちの話題や加入されている団体・サークル活動の紹介、募集やお知らせなど皆さんの身近な情報を掲載してみませんか？限られたスペースですがお気軽にご相談ください。
※ただし、営利を目的としないものに限らせていただきます。

担当 総務部企画財政課広報情報係 ☎ 62-9721/✉k-kouhou@memuro.net



次号のキッズファイルは、西士狩保育所です。



北風にも負けず、元気いっぱいの祥栄っ子です！チームワーク抜群、パワフル全開!!
12月に行われるお遊戯会も大成功間違いなし。



- 芽室町受付分**
- ・瀬戸文子さん(大町)から、囲碁盤、将棋盤(囲碁愛好者のため)
 - ・澤田順啓さん(西工町)から、現金10万円(福祉行政振興のため)
 - ・泉 タエさん(愛生町)から、現金10万円(文化活動振興のため)
- 公立芽室病院受付分**
- ・竹島順一さん(曙町)から、清拭用タオル(公立芽室病院患者様用として)
 - ・西内邦夫さん(東町)から、現金10万円(公立芽室病院運営費として)
- 特別養護老人ホーム受付分**
- ・洪山長寿会から、タオル40枚
 - ・中央西老人クラブ「長寿会」から、タオル50枚
 - ・栄老人会から、タオル45枚
 - ・早苗實さん(北伏古)から、じゃがいも30kg
 - ・睦親和会から、タオル21枚
 - ・西士狩友愛会から、タオル65枚
 - ・菅原寛さん(浦幌町)から、紙オムツ5袋
 - ・田島邦子さん(明友)から、カボチャ50kg

「生足に異変!? タイツ族が増殖中」

芽室高校新聞局

女子高校生といえど、「生足」でしたが、芽室高校では異変が起きています。今年も芽室女子の間では、スカートの下にタイツをはく「タイツ族」が流行っています。

もともとは去年の冬、3年生が中心となってタイツを広め、芽室でタイツをはく女子が急増したことから始まりました。この「タイツ族」は去年の芽室新聞で取り上げられたほか、十勝毎日新聞にも掲載されました。

今年もタイツをはき始める時期が去年に比べて早く、去年の紺と黒に加えて茶も増えはじめ、2年生を中心に広まっています。

今年一番初めにタイツをはき始めた2年C組の猿渡

松井 彩紀 (2年)

陽花瑠さんは、タイツをはいている理由を「かわいから」と話し、一緒にはき始めた2年B組佐藤あかりさんは「冷え症だからはき始めた」と話します。また、生徒会長の2年B組尾崎奈さんは「今年のみんがはいているのを見て暖かそうだから、初めてはいてみたら、やめられなくなった」とタイツの感想を話しています。しかし2年C組齋藤彩香さんからは「タイツを一度はいてみたくてはいたけど、実際暖かいものでもなかった」と、タイツの保温効果は限界もあるようです。

まだタイツをはいていない人、はいている人たちは「みんなでタイツ族になろう!」と呼びかけています。

連絡先
芽室高校新聞局 寺嶋
電話 6212624